

建設コープおおさか

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-8-9
http://www.kensetu-co-op.com 電話:06-6533-1675



7月の理事会は開催しませんでした。

インボイス制度って何？

2019年10月1日、飲食料店などに軽減税率が導入され、それまで単一税率だった消費税が軽減税率8%と標準税率10%の複数税率になった。この複数税率制度下における納税を適切に行うために、「インボイス制度」という新しい仕組みが2023年10月1日から導入される。

「インボイス」とは「消費税法において認められた請求書」の意味を持ち、正確には「適格請求書」という名前がついている。

消費税を納税していなかった「免税事業者」にも影響します

消費税法では小規模事業者の業務負担などを考慮して、基準期間(その課税期間を基準に、個人事業者は前々年、法人は前々事業年度)の課税売上高が1千万円以下の事業者については免税事業者として消費税の免除されている。消費税の免税事業者は、今回インボイス制度は仕入税額控除方法の変更である為、免税事業者にも影響が生じる。

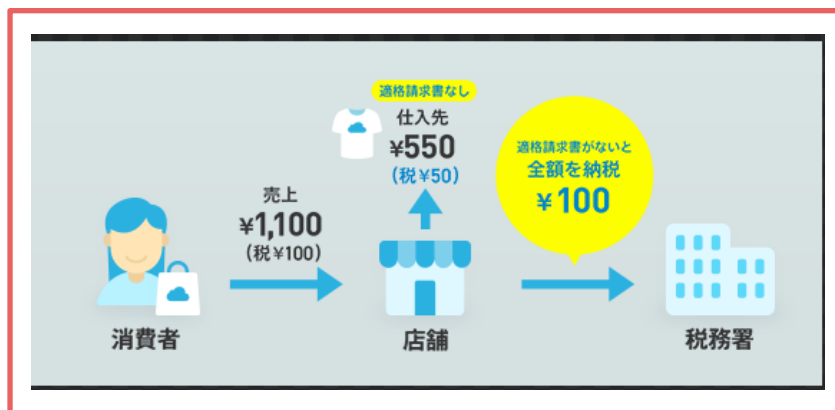
免税事業者からの仕入れは仕入税額控除できなくなる

新しいインボイス制度による最大の変更点は、「免税事業者からの仕入れについては、原則として仕入税額控除が出来なくなる」点にある。

現在の消費税は、取引先が課税事業者から免税事業者かを明確に区別する仕組みがなかったため、免税事業者からの仕入れであっても消費税相当額を仕入税額控除の対象に出来たが、インボイス制度では、あらかじめ課税事業者として登録した「適格請求書発行事業者」しかインボイスを発行できない。

免税事業者からの仕入れの扱い

インボイス制度導入後、仕入先が適格請求書発行事業者か免税事業者かの違いによって、部品を購入したメーカーの消費税納税額がどのように変わるか。



「大阪府からのお願い」

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け対応について

8月17日、国において、大阪府の「緊急事態措置を実施すべき期間」が9月12日まで延長されたことを踏まえ、8月18日、大阪府は第57回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、8月20日～9月12日迄の緊急事態措置に基づく要請を決定した。

現在、7日間新規陽性者数が第四波の感染規模を大きく上回っており、また、企業事業所関連のクラスターの割合が第三波・第四波に比べて増加している。今後、9月上旬にはデルタ株にほぼ置き換わると予想され、更なる感染拡大の継続が懸念されることから、人と人との接触機会を減らすために、人の流れを抑制することが重要。

<緊急事態措置に基づく要請>

- 区域・・・大阪府全域
- 要請期間・・・緊急事態措置を実施すべき期間(8月20日～9月12日。ただし感染拡大の状況に応じて要請内容を判断)
- 要請事項
 - ・多くの方々が集まる施設については、適切な入場整理等(人数管理、人数制限、誘導等)を実施すること
 - ・大規模商業施設については、入場整理等の実施状況をホームページ等で広く周知すること
 - ・在宅勤務(テレワーク)、休暇取得等による、出勤者数の7割減をめざすこと
 - ・職場に出勤する場合でも、時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組みを強力に推進すること
 - ・休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外した会話を控えること

夏の暑さ3つの対策法

わが家の日差し対策と風通しのことを考え見ましょう

夏の暑さを防ぐポイントは、日差しを遮ることと風通しを良くすること。

日差しは、窓から入って来る熱を抑えることが重要。まずは熱を遮断することから考えましょう。また、風通しを良くすることで体感温度を下げ、室温も下げることが出来る。わが家の平面図を見てどの部分の熱を遮断するか、どのように風の通り道を作るかを検討する。外部からの熱を防ぎ、風通しを良くすることで、エアコンを使う時間がグッと減ってきます。

1. 外からの熱の侵入を抑え室内温度の上昇を防ぐ

日差しの遮断・・・

- ①室温の上昇は窓から入る外からの熱が主な原因
- ②室温を上げないためには、窓の外での遮断対策が効果的
- ③窓から入る日差しは、お肌の日焼けや家具の日焼けの原因に

2. 風通しを良くして体感温度を下げる

風の通り道をつくる・・・

- ①採風タイプの玄関ドアや通風建具を使って入口・出口以外にも風の通り道をつくる
- ②風の通り道は長い距離でつくと広範囲に効果がある
- ③ウインドキャッチャーを利用し風が弱い日に効率良く室内に風を取り込む

3. 開口部の断熱性を高めて快適・省エネに

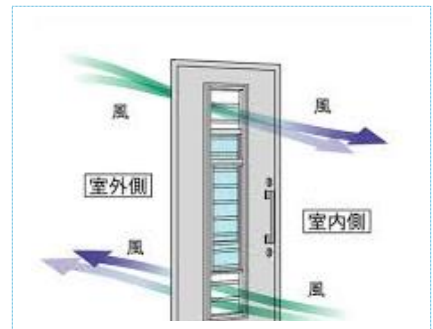
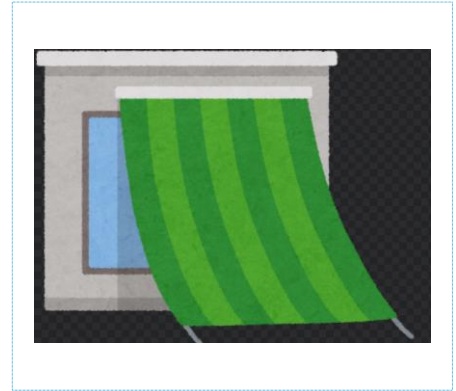
断熱性を高める・・・

- ①西日対策には内窓や断熱効果のある窓が有効
- ②家具の日焼け対策のほか室内上昇を抑える効果も

《番外編》

備えていますか？

住まいの台風対策



増加する台風の被害
昨今、夏の異常気象とともに気になる台風の被害
台風対策のポイントは「シャッター・雨戸」
窓まわりを強化することでいざという時も安心
飛来物の被害を防ぐ、騒音もカット。

【編集後記】

今年の夏は、東京オリンピック 2021 が始まりアツという間に17 日間で終わり、メダルラッシュ。そして温帯低気圧前線の影響での大雨による災害。現在はデルタ株によるコロナ感染拡大。心休まることはありません。2 年前までは夏といえばほとんどの人たちは、自由に旅行を楽しみ海、山、お祭り親もとへの帰省とそれがごく普通の生活様式でした。

でも、今は・・・



